

小中一貫教育実施校の例

小中一貫校（教育）とは・・・

9年間の計画的・継続的な教育活動により、学力向上及び社会性や豊かな人間性の育成につながる異年齢集団による活動等、小中一貫教育を行う学校

施設一体型小中一貫校

坂戸市立城山小・中学校(城山学園)

施設隣接型小中一貫校

入間市立東町小・中学校

① 学校教育目標

共通「心豊かな子 自ら学ぶ子 たくましい子」
～豊かさ かしこさ たくましさ～

② 特色等

- ・1年生～9年生を発達段階に応じ3つの区分、1年生～4年生をⅠ期、5年生～7年生をⅡ期、8年生～9年生をⅢ期としており、小学校、中学校という分け方ではなく接続をスムーズにしている。
- ・中学校の教員が授業に参加
- ・Ⅰ期では4年生がリーダーとして活動
- ・5・6年生は一部教科担任制も導入
- ・生徒会の一本化
- ・5年生から部活動入部を許可
- ・ノーチャイムを一部導入
- ・入学式、始業式、卒業式、避難訓練、運動会等合同の学校行事を開催

① 学校教育目標

小学校「明るい子 よく考えやりぬく子 仲良く協力する子」
中学校「自立できる生徒の育成」

② 特色等

- ・継続した教育課程の編成・実施・改善
9年間の系統表に基づき学習内容をつなぐ
(算数・数学、体育・保健体育、外国語活動・英語、音楽)
- ・指導をつなぐ
学習規律を合わせる、学習の流れを合わせる
- ・乗り入れ授業
(小学校教員が中学校へ、中学校教員が小学校へ)
- ・音楽会、お茶会、運動会等学校行事の一部・合同開催
- ・知・徳・体の各ブロックに分け、学力向上、中1ギャップ解消、規律ある態度の定着をねらいを定めた小中の交流、連携を進めた一貫教育を推進